



東電ガス とくとかくガスプラン for au

(主契約料金表)

平成31年2月21日実施

ガス料金その他の供給条件の内容

東電ガスとくとくガスプラン for au

1 対象となるお客さま

東京瓦斯株式会社が定める託送供給約款の供給区域のお客さまで、原則としてガス需給約款 1（対象となるお客さま）および次のいずれにも該当し、当社との協議が整ったお客さまを対象といたします。

- (1) この料金表のガスの需給契約を契約されること。
- (2) お客さままたはお客さまの同居の家族が KDDI 株式会社（以下「KDDI」といいます。）の指定する KDDI または沖縄セルラー電話株式会社（以下「沖縄セルラー電話」といいます。）の au（LTE）通信サービス約款に定める au（LTE）通信サービスまたは au（WIN）通信サービス約款に定める au（WIN）通信サービスを利用していること。
- (3) お客さまが、この料金表により算定されたガス料金を KDDI または沖縄セルラー電話が別に定める東電ガスとくとくガスプラン for au 立替払いサービス請求規約に係る契約にもとづき、KDDI に毎月継続して料金を立て替えさせる方法（以下「KDDI 立替払いサービス」といいます。）により支払われること。

2 ガ ス 料 金

ガス料金は、基本料金および従量料金の合計といたします。ただし、従量料金は、別表（原料費調整）1（1）によって算定された平均原料価格が57,250円を下回る場合は、別表（原料費調整）1（4）によって算定された原料費調整額を差し引いたものとし、別表（原料費調整）1（1）によって算定された平均原料価格が57,250円を上回る場合は、別表（原料費調整）1（4）によって算定された原料費調整額を加えたものといたします。

なお、使用量が 20 立方メートルまでの場合には料金表 A を、使用量が 20 立方メートルをこえ、80 立方メートルまでの場合には料金表 B を、使用量が 80 立方メートルをこえ、200 立方メートルまでの場合には料金表 C を、使用

量が200立方メートルをこえ,500立方メートルまでの場合には料金表Dを,
使用量が500立方メートルをこえ,800立方メートルまでの場合には料金表
Eを,使用量が800立方メートルをこえる場合には料金表Fを,それぞれ適
用いたします。

(1) 料 金 表 A

イ 基 本 料 金

基本料金は,1月につき次のとおりといたします。

1 契 約 に つ き	722円84銭
-------------	---------

ロ 従 量 料 金

従量料金は,その1月の使用量によって算定いたします。

1 立 方 メ ー ト ル に つ き	138円38銭
---------------------	---------

(2) 料 金 表 B

イ 基 本 料 金

基本料金は,1月につき次のとおりといたします。

1 契 約 に つ き	1,005円70銭
-------------	-----------

ロ 従 量 料 金

従量料金は,その1月の使用量によって算定いたします。

1 立 方 メ ー ト ル に つ き	124円24銭
---------------------	---------

(3) 料 金 表 C

イ 基 本 料 金

基本料金は,1月につき次のとおりといたします。

1 契 約 に つ き	1,173円31銭
-------------	-----------

ロ 従 量 料 金

従量料金は,その1月の使用量によって算定いたします。

1 立方メートルにつき	122円14銭
-------------	---------

(4) 料 金 表 D

イ 基 本 料 金

基本料金は、1月につき次のとおりといたします。

1 契 約 に つ き	1,801円87銭
-------------	-----------

ロ 従 量 料 金

従量料金は、その1月の使用量によって算定いたします。

1 立方メートルにつき	119円00銭
-------------	---------

(5) 料 金 表 E

イ 基 本 料 金

基本料金は、1月につき次のとおりといたします。

1 契 約 に つ き	5,992円27銭
-------------	-----------

ロ 従 量 料 金

従量料金は、その1月の使用量によって算定いたします。

1 立方メートルにつき	110円62銭
-------------	---------

(6) 料 金 表 F

イ 基 本 料 金

基本料金は、1月につき次のとおりといたします。

1 契 約 に つ き	11,858円83銭
-------------	------------

ロ 従 量 料 金

従量料金は、その1月の使用量によって算定いたします。

1 立方メートルにつき	103円29銭
-------------	---------

3 日 割 計 算

- (1) 当社は、ガス需給約款 16 (ガス料金の算定) (1)イ, ロまたはハの場合は、日割計算をし、ガス料金を算定いたします。

この場合のガス料金は、(3)によって算定された日割計算後基本料金および(4)によって算定された従量料金の合計といたします。ただし、従量料金は、別表 (原料費調整) 1 (1)によって算定された平均原料価格が 57,250 円を下回る場合は、別表 (原料費調整) 1 (4)によって算定された原料費調整額を差し引いたものとし、別表 (原料費調整) 1 (1)によって算定された平均原料価格が 57,250 円を上回る場合は、別表 (原料費調整) 1 (4)によって算定された原料費調整額を加えたものといたします。

- (2) (3)の日割計算後基本料金および(4)の従量料金の算定にあたっては、使用量がイによって算定された値までの場合は2 (ガス料金) (1)の料金表Aを、使用量がイによって算定された値をこえ、ロによって算定された値までの場合は2 (ガス料金) (2)の料金表Bを、使用量がロによって算定された値をこえ、ハによって算定された値までの場合は2 (ガス料金) (3)の料金表Cを、使用量がハによって算定された値をこえ、ニによって算定された値までの場合は2 (ガス料金) (4)の料金表Dを、使用量がニによって算定された値をこえ、ホによって算定された値までの場合は2 (ガス料金) (5)の料金表Eを、使用量がホによって算定された値をこえる場合は2 (ガス料金) (6)の料金表Fを、それぞれ適用いたします。

ただし、ガス需給約款16 (ガス料金の算定) (1)ハに該当する場合は、イ、ロ、ハ、ニおよびホの

$$\frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}} \text{ は, } \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{暦日数}}$$

といたします。

なお、イ、ロ、ハ、ニおよびホによって算定された値の単位は、1立方メートルとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

$$\text{イ } 20\text{立方メートル} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}}$$

$$\begin{aligned} \text{ロ} \quad & 80 \text{立方メートル} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}} \\ \text{ハ} \quad & 200 \text{立方メートル} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}} \\ \text{ニ} \quad & 500 \text{立方メートル} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}} \\ \text{ホ} \quad & 800 \text{立方メートル} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}} \end{aligned}$$

- (3) 日割計算後基本料金は、(2)により適用することとされた基本料金に以下の値を乗じて得た値といたします。

$$\frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}}$$

ただし、ガス需給約款16（ガス料金の算定）(1)ハに該当する場合は、

$$\frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{検針期間の日数}} \text{ は, } \frac{\text{日割計算対象日数}}{\text{暦日数}}$$

といたします。

なお、日割計算後基本料金の単位は、1円とし、その端数は、切り捨てます。

- (4) 従量料金は、(2)により適用することとされた従量料金といたします。
 (5) ガス需給約款16（ガス料金の算定）(1)イの場合により日割計算をするときは、日割計算対象日数には開始日を含み、消滅日を除きます。

また、ガス需給約款16（ガス料金の算定）(1)ロの場合により日割計算をするときは、変更後の料金は、変更のあった日から適用いたします。

4 供給ガスの熱量、圧力および燃焼性

この料金表による供給ガスにおける熱量、圧力、燃焼性は、次のとおりといたします。

なお、供給ガスは、燃焼性によって類別されており、この料金表による供給ガスの類別は13Aであるため、13Aとされているガス機器が適合いたします。

熱 量	標準熱量	……45メガジュール
	最低熱量	……44メガジュール
圧 力	最高圧力	……2.5キロパスカル
	最低圧力	……1.0キロパスカル
燃焼性	最高燃焼速度	……47
	最低燃焼速度	……35
	最高ウォッベ指数	……57.8
	最低ウォッベ指数	……52.7

5 料金の支払期日および支払方法

- (1) お客さまは、料金については毎月、ガス需給約款 17（ガス料金の支払義務および支払期日）(3)、18（ガス料金その他の支払方法）および 19（延滞利息）にかかわらず、KDDI 立替払いサービスにより支払うものいたします。
- (2) 料金が KDDI により当社が指定する金融機関等に払い込まれたときに、お客さまから当社に対する支払いがなされたものいたします。

6 適用の終了および需給契約の解約

1（対象となるお客さま）に定める適用条件を満たしていないことを当社が確認した場合は、この料金表に定める需給契約を解約することがあります。

なお、この場合、当社はあらかじめその旨をお客さまにお知らせいたします。

7 そ の 他

- (1) お客さまが需給契約を廃止する場合または当社が需給契約を解約する場合には、ガス需給約款 30（需給契約の廃止または解約にともなう費用相当額の申受け）にかかわらず、当社は、需給契約の廃止または解約に要する費用に相当する金額は申し受けません。
- (2) その他の事項については、ガス需給約款に定めるところによるものいたします。

附 則（実施期日）

この料金表は，平成 31 年 2 月 21 日から実施いたします。

別 表（原料費調整）

1 原料費調整額の算定

(1) 平均原料価格

1 トン当たりの平均原料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって算定された値といたします。

なお、平均原料価格は、10円単位とし、10円未満の端数は、1 円の位で四捨五入いたします。

$$\text{平均原料価格} = A \times \alpha + B \times \beta$$

A = 各平均原料価格算定期間における 1 トン当たりの平均 LNG 価格

B = 各平均原料価格算定期間における 1 トン当たりの平均 LPG 価格

$$\alpha = 0.9479$$

$$\beta = 0.0546$$

(2) 原料費調整単価

原料費調整単価は、次の算式によって算定された値といたします。

イ 1 トン当たりの平均原料価格が 57,250 円を下回る場合

$$\begin{array}{l} \text{原料費} \\ \text{調整単価} \end{array} = (57,250 \text{円} - \text{平均原料価格}) \times \frac{\text{2 の基準単価}}{100} \times 1.08$$

ロ 1 トン当たりの平均原料価格が 57,250 円を上回る場合

$$\begin{array}{l} \text{原料費} \\ \text{調整単価} \end{array} = (\text{平均原料価格} - 57,250 \text{円}) \times \frac{\text{2 の基準単価}}{100} \times 1.08$$

なお、原料費調整単価の単位は、1 銭とし、その端数は、イによって算定する場合は切り上げ、ロによって算定する場合は切り捨てます。

(3) 原料費調整単価の適用

各平均原料価格算定期間の平均原料価格によって算定された原料費調整単価は、その平均原料価格算定期間に対応する原料費調整単価適用期間に使用されるガスに適用いたします。

なお、各平均原料価格算定期間に対応する原料費調整単価適用期間は、次のとおりといたします。

平均原料価格算定期間	原料費調整単価適用期間
毎年 1 月 1 日から 3 月 31 日までの期間	その年の 5 月の検針日から 6 月の検針日の前日までの期間
毎年 2 月 1 日から 4 月 30 日までの期間	その年の 6 月の検針日から 7 月の検針日の前日までの期間
毎年 3 月 1 日から 5 月 31 日までの期間	その年の 7 月の検針日から 8 月の検針日の前日までの期間
毎年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの期間	その年の 8 月の検針日から 9 月の検針日の前日までの期間
毎年 5 月 1 日から 7 月 31 日までの期間	その年の 9 月の検針日から 10 月の検針日の前日までの期間
毎年 6 月 1 日から 8 月 31 日までの期間	その年の 10 月の検針日から 11 月の検針日の前日までの期間
毎年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの期間	その年の 11 月の検針日から 12 月の検針日の前日までの期間
毎年 8 月 1 日から 10 月 31 日までの期間	その年の 12 月の検針日から 翌年の 1 月の検針日の前日までの期間
毎年 9 月 1 日から 11 月 30 日までの期間	翌年の 1 月の検針日から 2 月の検針日の前日までの期間
毎年 10 月 1 日から 12 月 31 日までの期間	翌年の 2 月の検針日から 3 月の検針日の前日までの期間
毎年 11 月 1 日から 翌年の 1 月 31 日までの期間	翌年の 3 月の検針日から 4 月の検針日の前日までの期間
毎年 12 月 1 日から 翌年の 2 月 28 日までの期間 (翌年が閏年となる場合は、翌年の 2 月 29 日までの期間)	翌年の 4 月の検針日から 5 月の検針日の前日までの期間

(4) 原料費調整額

原料費調整額は、その 1 月の使用量に(2)によって算定された原料費調整単価を適用して算定いたします。

2 基準単価

基準単価は、平均原料価格が 100 円変動した場合の値とし、次のとおりいたします。

1 立方メートルにつき	8 銭 1 厘
-------------	---------

3 原料費調整単価等のお知らせ

当社は、1 (1) の各平均原料価格算定期間における 1 トン当たりの平均 L N G 価格、1 トン当たりの平均 L P G 価格および 1 (2) によって算定された原料費調整単価をお知らせいたします。